

# 花みづき

第39号 / 2025.4.1

## 30年前に図書館で味わった 絶望から考えること

白梅学園大学・白梅学園短期大学 学長  
小玉 重夫

研究は大学など高等教育機関で行われるものだというとらえ方は近年大きく問い直され、「探究」という言葉への注目とともに、それは初等中等教育のみならず幼児教育や保育でも重要な活動であるというようになってきました。そしてこの研究や探究が行われるうえで不可欠の空間が図書館です。図書館は、研究や探究の根幹をなす「探す」という営みを可能にする空間だからです。

私自身図書館で「探す」ことの醍醐味を味わってきました。それは、森の中で植物を探したり、海にもぐって魚を探したり、CDショップでCDやレコードを探すのと少し似ていて、探しているうちにもととの興味関心や目的が変わることもあるし、あるいは思いがけない掘り出し物と出会うこともあったりと、ちょっとスリリングな経験です。そして、スリルは時として絶望に変わることもあります。特に記憶に残っているのは、ワシントンの議会図書館で絶望した経験でした。

学生の頃から、ハンナ・アレント(アーレント)という思想家の教育思想と政治思想に関心を持ち、研究対象の一つにしてきました。アレントは戦前にドイツで生まれ、育ちましたが、ユダヤ人であったため、ナチスに迫害されて、戦後はアメリカに亡命し、文筆活動を行いました。したがって彼女の書いた未公刊の文書や手紙などが、ワシントンにあるアメリカ合衆国議会図書館に「アレント・ペーパーズ」として所蔵されています。

博士論文を書いていた1994年の夏にワシントンに渡航し、この議会図書館を訪れ、所蔵されている文書を閲覧し、必要なものをコピーして持ち帰ることができました。アレント直筆の手紙や未公開の文書がいろいろ見つかると、とても幸せな気持ちになりました。

当時の私の関心は、アレントが『全体主義の起原』という主著を出した1951年と、『人間の条件』というもう一つの主著を出した1958年の間にどういう思想展開があったのかという点にあり、特にそこで彼女がカール・マルクスの思想研究をしていたことが気になっていました。これについては、当時は未



公刊であった草稿が「アレント・ペーパーズ」に所蔵されていることがわかっていたので、数年後の1999年の春に再びワシントンに渡航して、資料の収集を行おうとしました。

ところがこの時、合衆国議会図書館の「アレント・ペーパーズ」はデジタル化の作業を行うために一時閉鎖をされていて、かなり長期間、資料の閲覧と収集はできないと断られてしまったのです。私は目の前が真っ暗になり、絶望的な気持ちになりました。

そこで、「アレント・ペーパーズ」のコピーが所蔵されているドイツのオルデンプルク大学の図書館にこの年の夏に出かけ、ようやく資料と出会うことができました。オルデンプルク大学の図書館にはその後、翌2000年の春と夏にも出かけ、何とか探していた資料を持ち帰ることができ、それをもとに論文や翻訳を出すこともできました(→「おすすめ図書」参照)。

現在、合衆国議会図書館の「アレント・ペーパーズ」はデジタル化が完了し、日本の研究室や自宅からでも自由にそれを見て複写することが可能となっています。今、図書館の多くの資料はデジタル化によってどこからでもアクセスでき、デジタル化されていないものも、オンラインで検索し取り寄せることが可能となっています。30年前に私が経験したような絶望は、しなくてもよくなったと言えるかもしれません。

ただ、それによって、図書館で味わう、森で探索したり海にもぐったりしたときに感じるのと似た、あのスリリングな経験が失われるとしたら、それはとても残念なことです。デジタル化によってもたらされる利便性や開放性と、図書館という「探究の森」に潜むスリルとを両立させるような知の「コモンズ」(共有)を、本学でも何とか実現できないか、そのようなことを考えています。

## 法律を知っていることは 私たちの心強い味方になる

年度の最初の自己紹介のときに、私が法律科目の教員だという話をすると一部の学生の表情が曇ることがあります。ちょっと寂しいなと思いつつ、でも、確かに「法律」って難しそうだし、固いイメージがありますよね。できれば、法律と関わらずに人生を送っていきたいというのは、誰もが抱く当然の感情だと思います。

私たちは法律を切り離して人生を送ることはできませんが、普段は法律を意識することなく生活していることがほとんどです。この後紹介する本の中でも紹介されていますが、予防接種や入学などは、本来は法律で決められているものですが、役所から連絡が来るので、法律を知らなくても問題がなく済んでしまうからです。しかし、何らかのトラブルに巻き込まれたとき、多くの人は初めて法律の存在を意識することになります。そのようなときの「困った」「苦しい」「辛い」という感情と結びつくことから、法律には難しくて固いイメージがあるのかもしれませんが。

でもそんなイメージとは逆に、実は「法律を知っている」ことは私たちにとって心強い味方になります。なぜなら法律を知っているということは、「自分には権利があること」や「本来持っているはずの権利を侵害されていること」、そして「誰かに助けを求めることができること」や「相手に賠償を請求できること」を知っているということに繋がるからです。

現在、図書館では「あなたをまもる本」という棚が作られています。そこで、私からは、「法律を知っていることであなただけをまもることに繋がる本」として、「新おとめ六法」という本をご紹介します。この本は、「恋愛」「SNS・インターネット」「子ども」「くらし」「しごと」「結婚」という、私たちの人生に身近な6つの場面で起こるトラブルに対応する法律の知識を紹介しています。たとえばデートDVの被害に遭ったとき、SNSで誹謗中傷を受けたときなどに私たちをまもってくれる法律について、法律に固いイメージを持っている人にもわかりやすい解説がされています。また、この本は法律の話だけではなく、産婦人科の医師や元警察官によるコラムも掲載されているので幅広く知識を得ることができると思います。



子ども学部 子ども学科／教育学科 准教授  
尾崎 万帆子

なお、タイトルを見ると、女性向けの本のように見えますが、著者も述べている通り、あらゆる性別の人にあてはまる話がほとんどです。また、妊娠のような「女性特有の問題」も決して「女性だけの問題」ではありません。ぜひ性別に限らず手に取って読んでみてほしいと思います。

### ▶小玉学長おすすめ図書

オルデンブルク大学で収集した資料にもとづく成果は以下の本で発表しました。

- 『ハンナ・アーレントを読む』, 情況出版編集部編 ; ハンナ・アーレント [ほか著], 情況出版, 2001年
- 『カール・マルクスと西欧政治思想の伝統』, ハンナ・アーレント [著]; 佐藤和夫編 ; アーレント研究会訳, 大月書店, 2002年

いずれも本学図書館に所蔵されています。

本学の図書館にはほかにも、ハンナ・アーレントに関する数多くの書籍が所蔵されています。

### ▶尾崎先生おすすめ図書

- 『新おとめ六法』, 上谷さくら著, KADOKAWA, 2024年

本学図書館に所蔵されています。



# 古田足日 研究プロジェクト

## 5年間の歩み

### プロジェクト始動

本学元学長汐見稔幸氏の紹介により、86歳で逝去された古田足日氏の蔵書（児童書、絵本、研究書、社会活動関係資料、大学での講義関係資料等）約33,000冊が白梅学園に寄贈されたことを受け、2020年、関係専門領域の大学教員と、図書館職員、子ども学研究所職員との合同プロジェクトとして、「古田足日アーカイブプロジェクト」が立ち上がりました。



### 寄贈資料記念アルバムの制作



古田家の1階と2階に埋め尽くされた蔵書の数々、さまざまな原稿・絵本が生み出された書斎、年代別に並べられていた児童書の書架は、寄贈を受けて蔵書の運び出しが行われる前に、余すことなく写真におさめられました。

そして、これらの写真は寄贈資料記念アルバムとして製本され、ご令室古田文恵氏へ贈呈されるとともに、本学図書館にて保管されています。

### 文献調査チーム

文献調査チームは、古田氏がどのような本に関心を示し、どのように保存していたのか、誰からの献本を受け、どのような人脈の中にいたのか等、書物の一つ一つを文字通り細く作業を行ってきました。

学外の研究プロジェクトメンバーとともに、古田氏の児童文学史上における新たな位置づけを提言できることを願い、ゆっくりではありますが着実に調査を進めています。

### チーム体制による インタビューチーム

インタビューチームでは、2020年2月から2022年12月の約3年弱をかけて、延べ16人の研究協力者の方々のご協力のもと、インタビュー調査を行ってきました。

更なる方々へのインタビュー調査を継続するとともに、これらの映像資料を貴重な社会資源としてアーカイブ化し、現在進行中の文献調査の資料を重ね合わせながら、古田氏の多様な側面を明らかにする研究へとアプローチしていきます。



「絵本ナビより」



(図書館×子ども学研究所共同)

# 2020-2024

2014年6月に亡くなった  
ふるた たるひ  
古田 足日氏について  
1927年愛媛県生まれ。  
早稲田大学露文科中退。児童文学作家・評論家。

主な作品  
「おしれのぼうけん」、「ダンプえんちよう やっつけた」(いずれも童心社)、「ロボット・カミイ」(福音館書店)、「モグラ原っぱのなかまたち」(あかね書房)、「新版宿題きょうけ株式会社」(評論「児童文学の旗」(いずれも理論社)、最新刊に評論「現代児童文学を問いつけて」(くろしお出版)など多数

## シンポジウムの開催

2023年11月25日(土)、神奈川近代文学館にて「古田足日シンポジウム 子どもの味方・子どもの見方 古田足日の仕事から考える」を開催しました。

(主催：白梅学園大学・白梅学園短期大学子ども学研究所 古田足日研究プロジェクト、共催：県立神奈川近代文学館、(公財)神奈川文学振興会)

当日は、本学へ寄贈された児童書を含む蔵書資料の整理と研究についての「古田足日研究プロジェクトの“これまで”と“これから”」や、「古田足日と国語教科書」、「古田足日が生きていたら、ウクライナ情勢をどう語っていただろう」、「〈方法化された誠実〉を追って」が登壇者より報告があり、来場者との熱心な情報交流・意見交換が繰り広げられました。



## 図書館での貸出開始

2024年4月から

「古田家寄贈書」として、古田足日氏の蔵書の一部を図書館にて利用提供を開始しました。館内閲覧はもちろんのこと、館外貸出も可能です。

館外貸出は、通常利用の貸出冊数の範囲内で、通常と同じ貸出期間での利用が可能です。

# プロジェクトの推進

## 図書館(受入)チーム

図書館チームでは、古田家にあった約33,000冊のうち、主に1階の書庫にあった児童書を中心に、受入れ作業を進めてきました。第一段階では、古田氏の付箋、書き込み等



のある貴重な研究対象本がまぎれていないかを確認する仕分け作業、第二段階のリスト化作業を経て、2023年度より図書館の蔵書として受け入れを開始し

ました。

第一、第二段階における仕分け作業、リスト化作業は、多くの学生アルバイトにより、丁寧な作業が進められてきました。



今後は図書館の蔵書データベースにコレクションとしての登録を行っていきます。

図書館 新コーナーのご案内

## 【あなたをまもる本】の棚 つくりました

### 【あなたをまもる本】とは

デリケートな内容で人目を気にして手に取りづらい本を、貸出手続きなしで自由に持ち出せることを可能にし、図書館が提供できる「本」という形で、利用者の助けになれば。という取り組みです。

以下のようなジャンルの本を用意しています。

- からだどころ
- 性・sex・妊娠
- DV・虐待
- 自殺・リストカット・ドラッグ
- 人間関係・いじめ
- 男の子へ
- 暮らし・お金
- ト라우マ・こころの病

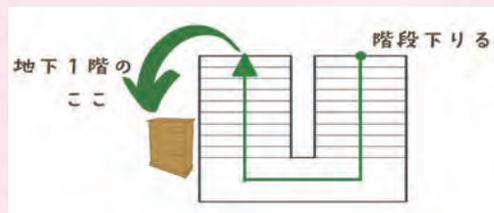


どんな本があるかブックリストでもご案内しています。  
また、本のセレクトは、健康生活支援センターの先生方にも  
ご協力いただきました。

[https://libuniv.shiraume.ac.jp/opac4/opac/Book\\_list](https://libuniv.shiraume.ac.jp/opac4/opac/Book_list)

リストには電子図書もあります。電子図書は、最初に大学内のネットワークで登録をしておけば、好きなときに好きな場所で本を見ることができますので、ぜひこの機会にご登録ください。

電子図書については、本誌6ページで詳しく説明しています。



棚の場所は、図書館地下1階、階段を下りて左側に  
回り込んだところです。

苦しいとき、つらいとき、あなたのそばに「本」があることで少しでも支えと救いを。

よかったら一度ご覧ください。



## 電子図書（eBook）を利用してみよう

図書館では、自宅など大学以外の場所からも研究や学習に活用できるように、電子図書（eBook）を購入しています。

図書館が契約している2種類の電子図書コンテンツそれぞれのアクセス方法があり、学外から利用するには事前に手続きが必要になりますので、あらかじめアカウントの作成や、IDの申請をしておくといでしょう。

### ■ 電子図書コンテンツ

#### ◇ eBook Library(Maruzen)

丸善が提供する日本語タイトルの学術系電子図書コレクションです。

読み上げ機能のある電子図書もあります。

※学外から利用するには、事前に学内でアカウントを作成したうえで、ご利用いただけます。

ご自分のスマートフォンを学内 Wi-Fi に接続して、アカウントを作成しましょう。

#### ◇ NetLibrary (EBSCOhost eBook Collection)

EBSCO が提供する和・洋タイトルの学術系電子図書コレクションです。

※学外からアクセスするには、ID とパスワードが必要です。

図書館に申請手続きをしてください。

### ■ コンテンツへのアクセス方法

#### ◇ 電子図書に直接アクセスする

図書館ホームページ

トップ画面の「電子図書」をクリック

→丸善もしくは EBSCO の検索ページへ



※スマートフォンでは右上の「MENU」をクリック

→データベース→電子図書

→丸善もしくは EBSCO の検索ページへ



#### ◇ 「白梅の資料を探す」(OPAC 検索) の検索結果からアクセスする

検索結果で配架場所が「電子所蔵」となっていたら、

詳細結果画面の一番下のほうにある

「電子図書アクセス URL」をクリックすると

コンテンツにアクセスできます。



★今後、電子図書に特化したブックリストも作成していく予定です。どうぞご利用ください。

花みづき・図書館についてのご意見・ご感想を図書館までお寄せください。E-mail : library@shiraume.ac.jp

図書館のホームページはこちらから <http://libwww.shiraume.ac.jp/>

